

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	地域医療連携システム導入事業				
基本目標	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり				
基本施策	地域医療体制の充実				
施策	地域医療連携体制を構築します				
所属名	病院事務部医事課				
事業開始年度	平成24年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	施設維持管理	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金あり	外部化等改善	改善の余地なし
非実施影響	著しい障害	緊急性	市に有利性	実施時効果	安全度向上
根拠法令等	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル運用管理規程				
事業概要	他医療機関との連携業務 運用部会（静岡県立総合病院）、作業部会（中東遠公立5病院）での情報共有及び課題解決協議 広報業務 参照施設（診療所等）を増やすための取組みを実施 運用業務 マニュアルに基づき参照施設等へ適切な開示を実施 保守管理業務 円滑に参照することができるよう、システムの適切な保守管理業務を実施				

2. 主な指標の状況							
項目		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	紹介率	計画値	70.00	72.50	72.50	72.50	72.50
		実績値	64.70	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	慢性疾患連携パスの作成件数	計画値	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	他医療機関との連携業務について中東遠公立5病院での作業部会で検討し、運用部会で検討結果を提案した。現状は、病病連携を中心に運用している。 参照施設を増やすために、診療所等へ直接訪問、当院広報紙で周知したほか、中東遠地域医療再生支援センター事業を活用し、診療所のパソコンソフトをインストールするなどの導入支援を行ってきた。
活動単位の評価	中東遠公立5病院との連携が第一であることから、今後も作業部会での検討が必要。 参照施設を増やす取組みについて、診療所等への直接訪問、当院広報紙で繰り返し実施していく必要がある。
見直しが必要な項目	他医療機関との連携業務については、現状のまま継続する。 参照施設を増やす取組みは、現状のまま継続する。

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	中東遠公立5病院での作業部会で情報共有しながら、病病連携を中心に運用している。 昨年度に引き続き中東遠地域医療再生支援センター事業を活用し、参照施設を増やす取組みを継続して実施している。 システム更新について、5病院の事務レベルでの情報共有を始めた。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	作業部会で各病院の情報共有を図りつつ、現状を維持しながら継続して運用していく。 システム更新について、県立総合病院等他圏域の状況を注視しながら、5病院間が情報共有をしている。
活動単位の中長期的な方向性	システム更新にあたり、実績や運用経費等の検証を行い、更新・廃止を含めた検討が必要。 医療連携を図るシステムであることから、特に緊密に連携している5病院間で同じ方向性となるよう情報共有、検討を行っていく。